

小学生児童調査票の設問構成

資料5

□ : 第1期調査票からの変更部分

設 問		第1期設問	備 考
お子さんと家族の状況について			
問1	子どもの学年	問2	
問2	子どもの数	問3	
問3	調査票の回答者(子どもとの関係)	問4	
問4	回答者の配偶関係	問5	
問5	親の年齢	問6	
問6	子どもとの同居の状況	問7	
問7	祖父母が近くに住んでいるか	問8	
問8	主に子どもの世話をしている人	問9	
子どもの育ちをめぐる環境について			
問9	子育ては楽しいと思うか	問11	
問10	子育てにおける悩み・不安	問12	
問11	子育てに関して相談できる人・場所の有無	問13	
問11-1	子育てに関する相談先	問13-1	
問12	近所や地域の人々との付き合いの状況	問14	
問13	子どもの地域活動への参加状況	問15	
問14	子どもの休日・夜間の急病時の対応	問16	
問15	子どもの発育や育ちの現状について		障害に関する設問として追加
保護者の就労状況について			
問16	現在と1年後の就労状況・形態	問17	就労関連の設問について、簡略化
		問17-1	
		問17-2	
		問17-3	
問16-1	家を出る時間と帰宅時間		京都府の独自追加設問
問16-2	理想の家を出る時間と帰宅時間		京都府の独自追加設問
放課後児童クラブの利用について			
問17	放課後の過ごし方	問18	
問17-1	放課後児童クラブを利用している理由	問18-1	
問17-2	放課後児童クラブへの要望	問18-2	
問17-3	放課後児童クラブを利用していない理由	問18-3	
問17-4	今後の放課後児童クラブの利用意向	問18-4	
問17-5	今後、放課後児童クラブを利用したい理由	問18-5	
問18	放課後子ども教室の利用意向	問19	
問19	希望する小学生4年生以降の放課後の過ごし方	問20	
病気の際の対応について			
問20	病気やケガで学校を休んだ経験の有無	問21	
問20-1	病気やケガで学校を休んだ際の対応	問21-1	
問20-2	病児・病後児保育施設等の利用希望	問21-2	
宿泊を伴う一時預かり事業について			
問21	宿泊を伴って子どもをみってもらう状況の有無と対応方法	問22	
子育て支援対策について			
問22	子育て環境や支援への満足度	問24	
問23	望ましい子育て支援施策	問25	
問24	子育てに関する情報の入手方法	問26	
問25	子育て支援の充実のために基本にすべき考え方	問27	
問26	子育てしやすいまちだと思うか	問28	
問27	子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと	問29	
問28	保育園に幼児教育の充実が必要と思うか	問30	
問29	「認定こども園」が和束町に必要と思うか	問31	
問30	「小1プロブレム」があったか	問32	
問30-1	「小1プロブレム」の内容	問32-1	
問31	取組分野の現状評価と重要度	問33	
問32	自由記述	問34	

子育てしやすい環境づくりを進めるためのアンケート ご協力をお願い

＜小学生児童の保護者の皆様＞

日頃から町民の皆様には、町政の運営にご理解・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、町では「あたたかいふれあいの中で、子ども一人ひとりが元気にたくましく育つまち」を基本とした「和束町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育てに関する施策や事業を推進しています。

このたび、「第2期和束町子ども・子育て支援事業計画（平成32～36年）」の策定を進めるにあたり、子育て家庭の生活状況や町の施策に対する、保護者の皆様のご意見・ご要望を計画に反映させるために「子育てしやすい環境づくりを進めるためのアンケート」を実施いたします。

お子さんが複数いらっしゃるご家庭には、複数通の調査票が届きます。お手数ですが、それぞれのお子さんの状況について、お子さんの人数分の調査票への記入をお願い致します。

なお、ご回答いただいた調査内容は、本町の計画及び事業実施に利用させていただくものです。回答者個人が特定されたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。

ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解の上、期日までにご回答いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年1月 和束町

【ご記入にあたってのお願い】

1. お子さんの保護者の方が無記名でご回答ください。（調査票に氏名を書く必要はありません。）
2. 回答は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。（ことわりのある場合を除く）
3. 回答は、選択肢に○をつける場合と、数字を記入する場合があります。
 - ①選択肢の場合：選択する数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。
「その他」には（ ）内に具体的な内容を記入してください。
 - ②数字の場合：時間について記入する際は、必ず24時間制（例：午後6時→18時）で記入してください。
4. 設問によって回答する方が限定される場合があります。ことわり書きに従ってください。なお、特にことわりのない場合は、次の設問へお進みください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返送用封筒に入れてご投函ください。

投函（提出）期限 1月21日（月）

◎本調査への質問または不明な点については、下記までお問い合わせください。

和束町福祉課 担当（森脇）

電話：0774-78-3006 FAX：0774-78-2799

Eメール：wazuka@town.wazuka.lg.jp

（開庁日時：月～金曜日（祝日を除く）8時30分～17時15分）

※「年」の表記は、元号（和暦）を用いています。平成31年度以降についても「平成」で表記していますので、ご了承ください。

【調査票における用語の定義】

幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設

保育園：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設

認定こども園：幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設

子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問1 あて名のおさんは、小学校の何年生ですか。(1つに○)

1 1年生	2 2年生	3 3年生
4 4年生	5 5年生	6 6年生

問2 あて名のおさんを含めて、おさんは何人ですか。(1つに○)

1 1人	2 2人	3 3人
4 4人	5 5人	6 6人以上

問3 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1 母親	2 父親	3 その他()
------	------	----------

問4 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

1 配偶者がいる	2 配偶者がいない	3 事実婚である
----------	-----------	----------

問5 母親、父親の該当する年齢階層をお答えください。(それぞれあてはまるもの1つに○)

※ひとり親家庭の方は、母親または父親のみお答えください

母親	1 20歳代	2 30歳代	3 40歳代	4 50歳代	5 60歳以上
父親	1 20歳代	2 30歳代	3 40歳代	4 50歳代	5 60歳以上

問6 お子さんとの同居の状況をお答えください。続柄はお子さんからみた関係です。(あてはまる番号すべてに○)

1 父母同居	2 父同居(ひとり親家庭)	3 母同居(ひとり親家庭)
4 祖父同居	5 祖母同居	6 その他()

問7 おさんの祖父母が近くにお住まいですか。(1つに○)

※近くとは、概ね30分以内程度に行き来できる範囲です。

1 近くに住んでいる(同居を含む)	2 住んでいない
-------------------	----------

問8 おさんの子育てを主に行っているのはどなたですか。続柄はお子さんからみた関係です。(1つに○)

1 父母ともに	2 主に母親	3 主に父親	4 主に祖父母	5 その他
---------	--------	--------	---------	-------

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問9 子育ては楽しいときもあれば、つらいときもありますが、お気持ちに一番近いものをお答えください。
(1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 とても楽しい | 2 楽しい |
| 3 少し不安、または負担を感じる | 4 とても不安、または負担を感じる |
| 5 どちらともいえない | |

問10 お子さんを育てる中で、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。お子さんのこと、保護者のことをそれぞれお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

【お子さんのこと】

- | | | | |
|------------|-------------------|--------------------|----------------|
| 1 病気や発育・発達 | 2 食事や栄養 | 3 育児の方法 | 4 子どもとの時間がとれない |
| 5 子どもとの接し方 | 6 子どもの教育や将来の教育費 | 7 友だち付き合い(いじめ等を含む) | |
| 8 登校拒否・不登校 | 9 子どもの生活リズムが乱れている | | |
| 10 特になし | 11 その他 () | | |

【保護者のこと】

- | | | |
|--------------------------------------------|----------------------|---------|
| 12 仕事や自分のやりたいことができない | 13 配偶者・パートナーの協力が少ない | |
| 14 話し相手や相談相手、協力者がいない | 15 保護者同士の交流・付き合いが難しい | |
| 16 子どもを叱りすぎているような気がする | | |
| 17 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまう | | |
| 18 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない | | |
| 19 子育てによる身体の疲れが大きい | 20 夫婦で楽しむ時間がない | |
| 21 家族の中での子育て方針の違い | 22 住居が狭い | 23 特になし |
| 24 その他 () | | |

問11 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。
(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 いる／ある ⇒問 11-1 | 2 いない／ない ⇒問 12 |
|-----------------|----------------|

問11で「1 いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 11-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1 祖父母等の親族 | 2 友人や知人 |
| 3 近所の人 | 4 学校の先生 |
| 5 医師など医療関係者 | 6 民生委員・児童委員 |
| 7 家庭児童相談室 | 8 教育相談室 |
| 9 母子父子自立支援員・ひとり親家庭福祉推進委員 | 10 児童相談所 |
| 11 民間の電話相談 | 12 その他 () |

問 12 すべての方にうかがいます。あなたのご家庭では、ご近所や地域の人々との付き合いはどの程度ですか。(1つに○)

1 親しい	2 付き合いがあり、やや親しい
3 少々付き合いがある	4 付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度
5 わからない	

問 13 お子さんは次のような地域での催しへ参加していますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 子育て支援サークルの活動	2 スポーツ活動
3 文化・音楽活動	4 キャンプ等の野外活動
5 子ども会等の青少年団体活動	6 リサイクル等の環境分野での社会貢献活動
7 その他の活動	

問 14 お子さんの休日や夜間の急な発熱などの急病時には、どのように対応されていますか。(最もあてはまる番号1つに○)

1 休日救急診療所	2 かかりつけ医
3 電話相談	4 その他 ()
5 受診できる医療機関を知らない	

問 15 あて名のお子さんの発達や育ちについて現時点での状況をうかがいます。①～⑦の事柄に関し、あてはまる状況はどれですか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 ない	2 ある	3 ときどき ある	4 過去に あったが 今はない
①言葉の遅れ 例)「発音がはっきりしない」「語いが少ない」など	1	2	3	4
②運動面の遅れ 例)「歩き始めが遅い」「歩行が不安定」など	1	2	3	4
③性格 例)「怒りっぽい」「不安を感じやすい」など	1	2	3	4
④心理的な不安定、突発的なふるまい 例)「ささいなことで泣く」「ある状況にとっても怖がる」 「突然怒る」「パニックを起こす」など	1	2	3	4
⑤行動面 例)「集中が続かない」「落ち着きがない」「気になる癖がある」など	1	2	3	4
⑥遊び方 例)「独特な遊び方をする」「遊びの時間が短い」など	1	2	3	4
⑦その他 ()	1	2	3	4

※上記の①から⑦までにあてはまるものがあっても、子どもの発達に問題があるとは限りません。

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

◎ひとり親家庭の場合は、母親または父親のみお答えください。

問 16 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次の表のどれですか。また、1年後はどのようになる予定か（変更のない方も）お答えください。（それぞれあてはまるもの1つに○）

(1) 母親

就労状況		現在		1年後
フルタイム就労（育休・介護休業中も含む）		1		1
パートタイム就労 （育休・介護休業中も含む）	就業時間：月当たり 120 時間以上	2	⇒	2
	就業時間：月当たり 48 時間以上 120 時間未満	3		3
	就業時間：月当たり 48 時間未満	4		4
就労していない		5		5

(2) 父親

就労状況		現在		1年後
フルタイム就労（育休・介護休業中も含む）		1		1
パートタイム就労 （育休・介護休業中も含む）	就業時間：月当たり 120 時間以上	2	⇒	2
	就業時間：月当たり 48 時間以上 120 時間未満	3		3
	就業時間：月当たり 48 時間未満	4		4
就労していない		5		5

※フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度以上の就労をいいます。

問 16-1～問 16-2 は、現在就労している方にうかがいます。

問 16-1 現在の家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。勤務時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（時間は（例）09時～17時のように24時間制（30分単位）で記入）

母親	家を出る時刻 []時[]分頃	帰宅時刻 []時[]分頃
父親	家を出る時刻 []時[]分頃	帰宅時刻 []時[]分頃

問 16-2 育児と仕事を両立するうえで望ましいと考えられる家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（時間は（例）09時～17時のように24時間制（30分単位）で記入）

母親	理想の家を出る時刻 []時[]分頃	理想の帰宅時刻 []時[]分頃
父親	理想の家を出る時刻 []時[]分頃	理想の帰宅時刻 []時[]分頃

あて名のお子さん放課後児童クラブの利用についてうかがいます。

問 17 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。

あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週あたりの日数や時間について〔 〕内に数字をご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合は、土日の利用状況もお答えください。（時間は（例）09時～17時のように24時間制で記入）

「放課後児童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供する。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。

1 自宅	週〔 〕日くらい	⇒問 17-3
2 祖父母宅や友人・知人宅	週〔 〕日くらい	
3 習い事 （ピアノ教室、スポーツクラブ、塾など）	週〔 〕日くらい	
4 いきいき子ども館	週〔 〕日くらい	
5 放課後子ども教室（※1）	週〔 〕日くらい	
6 放課後児童クラブ	⇒下校時から〔 〕時まで（〔 〕時間） ⇒うち、土・日の利用 1 ある 2 ない	⇒問 17-1
7 その他（公民館、公園など）	週〔 〕日くらい	⇒問 17-3

※1 「放課後子ども教室」…地域の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 17-1～問 17-2 は、問 17 で「6 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問 17-1 利用している理由をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

【お子さんの身の回りの世話を主にしている方（主な保護者）が、】

1 現在就労している	2 就労予定がある／求職中である
3 家族・親族などを介護しなければならない	4 病気や障害がある
5 学生である	6 その他（ ）

問 17-2 放課後児童クラブに対してどのように感じていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1 定員を増やしてほしい	2 利用時間を延長してほしい
3 施設・設備を改善してほしい	4 指導内容を工夫してほしい
5 その他（ ）	6 現在のままでよい

問 17-3～問 17-4 は、問 17 で「6 放課後児童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。

問 17-3 放課後児童クラブを利用していない主な理由をお答えください。(1 つに○)

【お子さんの身の回りの世話を主にしている方（主な保護者）が、】

- 1 現在就労していないから
- 2 就労しているが、放課後児童クラブを知らなかったから
- 3 就労しているが、近くに放課後児童クラブがないから
- 4 就労しているが、放課後児童クラブに空きがないから
- 5 就労しているが、放課後児童クラブの開所時間が短いから
- 6 就労しているが、利用料がかかるから
- 7 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
- 8 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
- 9 就労しているが、他の施設に預けているから
- 10 その他（)

問 17-4 お子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。(1 つに○、時間は(例) 09 時～17 時のように 24 時間制で記入)

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 1 利用したい ⇒ 週[]日くらい
⇒1 日あたり[]時間 ([]時～ []時)
⇒うち、土・日の利用希望 1 日あたり[]時間 ([]時～[]時) | ⇒問 17-5 |
| 2 今後も利用しない ⇒問 18 | |

問 17-4 で「1 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 17-5 お子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したい主な理由をお答えください。(1 つに○)

【お子さんの身の回りの世話を主にしている方（主な保護者）が、】

- 1 現在就労している
- 2 就労予定がある／求職中である
- 3 そのうち就労したいと考えている
- 4 家族・親族などを介護しなければならない
- 5 病気や障害がある
- 6 学生である／就学したい
- 7 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
- 8 その他（)

お子さんの不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

あった場合は、この1年間の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も[]内に数字でご記入ください。

1年間の対応		泊数
1 あった	1 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	[] 泊
	2 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	[] 泊
	3 「2」以外の保育事業（ベビーシッター等）を利用した	[] 泊
	4 子どもを同行させた	[] 泊
	5 その他（ ）	[] 泊
2 なかった		

子育て支援対策の全般についてうかがいます。

問 22 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度はどの程度ですか。（1つに○）

←満足度が低い		満足度が高い→		
1	2	3	4	5

問 23 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。（あてはまる番号3つまで○）

1 仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進	2 子育てにおける経済的負担の軽減
3 子育てのための安心、安全な環境整備	4 地域における子育て支援
5 妊娠・出産の支援	6 若者の自立とたくましい子どもの育ちの推進
7 健診など子どもの健康の支援	8 生命の大切さ、家庭の役割についての理解を促進させる施策
9 その他（ ）	10 特にない
11 わからない	

問 24 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。（あてはまる番号3つまで○）

1 町の広報やパンフレット	2 福祉課などの町の機関	
3 インターネット（ホームページ、ブログ、ツイッター・フェイスブックなどのSNS）		
4 子育て雑誌	5 テレビ、ラジオ、新聞	6 友人・知人
7 隣近所・地域の人	8 小学校	9 情報の入手先がない
10 情報の入手手段がわからない		

問 25 町の子育て支援の充実に向けて、どのような考え方を基本にすべきだと思いますか。(1つに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 親の就労を最優先に考えた子育て支援を充実する |
| 2 親の就労を優先しつつ、子どもの成長・発達に配慮した子育て支援を充実する |
| 3 子どもの成長・発達を優先しつつ、親の就労に配慮した子育て支援を充実する |
| 4 子どもの成長・発達を最優先に考えた子育て支援を充実する |
| 5 わからない |

問 26 あなたのお住まいの地区は、子育てのしやすい環境だと感じますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 子育てしやすいと思う | 2 まあまあ子育てしやすいと思う |
| 3 あまり子育てしやすいとは思わない | 4 子育てしやすいとは思わない |
| 5 どちらともいえない | |

問 27 本町が、もっと子育てしやすいまちとなるために、どのようなことが特に重要だと思いますか。(あてはまる番号3つまで○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1 小児救急医療体制の充実 | 2 保育園・放課後児童クラブの充実 |
| 3 いきいきこども館の充実 | 4 子育てについて学ぶ機会の促進 |
| 5 男女が共に子育てにかかわるための意識啓発 | 6 保育園や幼稚園の費用や教育費の負担軽減 |
| 7 出産や医療にかかる費用の負担軽減 | 8 子育ての不安や悩みの相談窓口の整備 |
| 9 発達などに関する専門相談体制の整備 | 10 道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備 |
| 11 子どもの創造性や感性をのばす教育機会の普及 | 12 いじめや差別をなくす取組の推進 |
| 13 出産や妊娠に関する学習機会の促進 | 14 親子が安心して集まって交流できる場などの整備 |
| 15 ファミリー・サポート・センターの組織化 | 16 特別な支援が必要な子どもへの事業推進 |
| 17 その他 () | |

問 28 あなたの子育てを振り返ってみて、和束保育園に、幼稚園のような幼児教育の充実が必要だと思いますか。下記の『幼児教育のねらい』を読んでからお答えください。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 ぜひ、必要だと思う | 2 どちらかといえば必要だと思う |
| 3 あまり必要とは思わない(おおむね現状でよい) | 4 必要とは思わない(現状でよい) |
| 5 どちらともいえない | |

※『幼児教育のねらい』

心身の健康に関する領域	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
人とのかかわりに関する領域	他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う。
身近な環境とのかかわりに関する領域	周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。
言葉の獲得に関する領域	経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
感性と表現に関する領域	感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

問 29 幼児教育と保育機能を併せ持つ施設に「認定こども園」というものがあります。あなたは、これからの和束町に適しているものは次のうち、どれだと考えますか。(1つに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 現行の保育内容のままでよい |
| 2 現行の保育園に、教育機能を充実させる |
| 3 現行の保育園を「認定こども園」にして、教育機能をより充実させる |
| 4 現時点では、よくわからない |

問 30 お子さんが小学校に進学した際、学校に馴染むまでに時間がかかる、いわゆる「小1プロブレム」はありましたか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1 もともと心配しておらず、実際もなかった | ⇒問 31 |
| 2 心配していたが、実際はなかった | |
| 3 もともと心配していなかったが、実際はあった | ⇒問 30-1 |
| 4 心配していたとおり、実際もあった | |

※「小1プロブレム」とは、入学したばかりの1年生で、集団行動がとれない、授業中座ってられない、話を聞かないなどの状態が数ヶ月継続すること。

問 30 で「3 もともと心配していなかったが、実際はあった」または「4 心配していたとおり、実際もあった」に○をつけた（「小1プロブレム」があったと回答した）方にうかがいます。

問 30-1 お子さんは実際にどのようなことがありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

- | |
|---------------------------------------------|
| 1 集団生活のルールや決まりを守ることができるまで時間がかかった |
| 2 授業時間中、先生の話聞けるようになるまで時間がかかった |
| 3 新しい友だちと仲良くなれるまで時間がかかった |
| 4 友だちをいじめたり、いじめられたりしたことがあった |
| 5 授業についていけるまで時間がかかった |
| 6 その他（) |

問 31 町の子育て支援の取組分野について、[1]現状評価、[2]今後の重要度それぞれ対する、あなたの考えに最も近いのはどれですか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	[1]現状評価			[2]今後の重要度		
	できている	どちらともいえない	できていない	重要である	どちらともいえない	重要ではない
[記入例] ア 地域における子育ての支援	1	②	3	1	②	3
子ども・子育て支援事業の推進						
1 教育・保育提供区域の設定	1	2	3	1	2	3
2 教育・保育施設の需要量及び確保の方策	1	2	3	1	2	3
3 地域子ども・子育て支援事業の提供	1	2	3	1	2	3
4 子どもに関する専門的な支援の充実	1	2	3	1	2	3
次世代育成の推進						
1 家庭の子育て支援の推進	1	2	3	1	2	3
2 親と子が共に学び育つ環境づくり	1	2	3	1	2	3
3 すべての子どもたちが安心して育つための安全な環境づくり	1	2	3	1	2	3

問 32 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

和東小学校に通学している方は、同封の封筒に入れて小学校に提出してください。（切手不要）

それ以外の方は、同封の封筒に入れて投函してください。（切手不要）